

9月定例会

21年度の決算 12 会計を認定したほか、補正予算や条例改正など 17 議案を可決（同意、承認）しました。市政一般質問においては 17 名の議員が質問を行いました。



決 算

平成21年度の一般会計の決算を認定したほか、国民健康保険事業やモーターボート競走事業など、11件の特別会計、企業会計の決算を認定しました。

一般会計の決算審査を行った一般会計決算特別委員会では、会派代表質疑を実施し、8名の委員が、将来の財政運営に対する質疑を初め、滞納対策、小中学校の耐震化など、各種施策の執行状況や費用対効果について、質疑を行いました。（※詳細は4・5頁をご覧ください）

さらに、この特別委員会では、常任委員会の所管に応じた分科会を設置し、担当課ごとに詳細な審査を行いました。

特別・企業会計決算においては、モーターボート競走事業が8億1,193万円の純利益を計上し、一般会計へ3億8千万円の繰入れを行うほか、20年度、約2億円の赤字収支だった国民健康保険事業が、税率の引き上げ等により、21年度では約880万円の赤字収支となっています。

補 正 予 算

約7億9,300万円を追加する平成22年度の一般会計補正予算を可決したほか、6件の特別会計、企業会計の補正予算を可決しました。

一般会計補正予算の主なものは、市内の魅力ある資源を掘り起こし、それらの資源を磨き上げるための計画書を作成するおむらの魅力再発見事業（316万円）や、地域子育てサポーターの養成や支援を必要とする家庭のニーズ調査などを行う地域子育て力向上プロジェクト事業（200万円）、6、7月の豪雨で被災した農林施設27箇所の復旧を行う農林施設災害復旧事業（4,000万円）などです。

おむらの魅力再発見事業の審査の付託を受けた総務委員会では、事業の今後の展開について質問し、理事者からは「計画書は分野ごとに整理し、製本を行う。次年度以降にそれを活用し、特産品などをブランド化し販売・PR等を行う」との答弁がありました。

□簡易水道事業特別会計

歳入歳出決算額

2億429万4,893円

□モーターボート競走事業決算

収益 467億1,487万3,149円

費用 459億294万1,165円

電話投票での売り上げが好調で約8億1,193万円の純利益を計上。一般会計へ3億8千万円の繰入れを行う。

□病院事業決算

収益 3億7,486万7,067円

費用 4億8,413万6,085円

□水道事業決算

収益 18億5,516万6,856円

費用 17億6,622万8,406円

□工業用水道事業決算

収益 2億377万2,388円

費用 2億1,156万7,341円

□下水道事業決算

収益 22億6,983万9,200円

費用 23億1,818万2,565円

□農業集落排水事業決算

収益・費用

3億9,558万5,079円

工業用水道事業、下水道事業は、給水収益、下水道使用料の減少などにより純損失。